

次代の農業を担う

～栃木県農業大学校生のチャレンジ～ ①

優れた乳用牛を育てる！



ホルスタイン共進会愛好会のメンバー

ホルスタイン共進会愛好会



農大祭で開催したミニ共進会

皆さん「ホルスタイン共進会」ってご存知ですか？簡単に言えば乳牛のホルスタイン種の改良を目的に、能力や体型に優れた牛を一堂に集めて行う乳用牛の美人コンテストです。私たち13名は、みんな牛が大好きで、こ

の共進会で優勝することを目指して、農業大学校「ホルスタイン共進会愛好会」を昨年4月に設立しました。共進会で良い成績を取ることが最終目的ですが、愛好会として色々な活動を行っています。第1が共進会の見学や勉強会です。昨年11月には、「全日本ホルスタイン共進会」が北海道で開催され、私たちも勉強のため参加しました。都道府県を代表す

る乳牛は、きれいに毛刈りされ体型も立派で、農大の牛とはだいぶ違い、ちょっとショックを受けました。「共進会」で入賞するには飼養管理の改善や調教等努力することが山ほどある」と実感しました。第2は愛好会や酪農に関する情報発信です。愛好会の活動状況等を紹介する「B&W新聞」を今までに3回発行し、農大HP等で発信して

います。また昨年11月の農大祭では、農大の牛によるホルスタインショーを開催し、来校者の皆様に見ていただきました。初めてのチャレンジだったので、「牛がおとなしくしているか」、「ちゃんと歩いてくれるか」、「何より「お客さんが集まってくれるのか」など不安がいっぱいでした。しかし、予想以上に多くのお客さんが集まり、牛を見て触って喜んでくれ、ほっとして、すごく嬉しくなりました。

今は、春に開催される県内の共進会出品のため、毛刈りの練習や調教に励んでいます。牛引きの練習では腕や肩が痛くなったり、毛刈り練習では細かい毛が舞うためくしゃみや止まらなかつたりとすごく大変ですが、入賞目指してみんなで頑張っています。今後は、共進会に参加する酪農家や農業高校と情報交換などを積極的にを行い、自分たちの知識や技術を磨くよう努力していきます。私たちは、共進会優勝と大好きな乳牛についての情報発信を目的に今後も全力で活動します。

(ホルスタイン共進会愛好会)

農業をもっと深く学びたい！

メール受信画面に「合格しました」の文字。本校園芸経営学科・渡辺修平君からの喜びのメール。彼は本校で花の栽培を学ぶ2年生で、4年制大学への編入学を目指して、一生懸命に勉強に取り組んで来ました。希望の理由を問うと、「滞在型の食農体験が出来る宿泊施設を経営するのが夢。また、農大で栽培技術

や食品加工を学んだ上で、さらにグリーンツーリズムや園芸セラピー、地域活性化や経営マネジメントについても大学に編入して学びたい」とのこと。

将来は、「農業の魅力や命の大切さをより多くの人に知ってもらうことで、農業や地域が元気になるよう貢献したい」と大きな目標を掲げて



編入学に向け職員と熱心に相談

4年制大学への編入学に挑む

います。

本校は、農水省所管の法令により県が設置した農業後継者等を養成する研修機関ですが、平成22年、文科省の学校教育法に基づく専修学校となり、本校卒業生は4年制大学への3年次編入の道が開かれました。その結果、平成25年に酪農学園大学に1名、平成26年には宇都宮大学に1名が編入学試験にパス。今年度は、渡辺君が弘前大学、同じ学科で学ぶ木村綺愛さんが恵泉女学園大学に合格しました。木村さんは、シクラメンを中心に花の栽培を学んでいます

が、「編入後は、園芸と心理学を連携して学び、将来は花き栽培を通して園芸療法の場で活躍したい」と胸を膨らませています。このように、編入学試験に合格した学生に共通していることは、明確な目標を持ってそれを口に出し、目標に向かって真剣に努力したことであり、将来の夢を実現したいと強く思うことが何物にも代えがた原動力となったことです。

本校は、専門的な実践教育により、地域をリードする農業後継者等を養成していますが、更なる農学への向

上心を持ち、一步一步夢の実現に向け努力する学生達を職員全員で支援していきます。

(教務部編入学支援担当職員)

「ワクワクどきどき」

農業大学校長
安納 義雄

農業大学校は創立110周年、県内唯一の農業者の教育・研修機関として、多くの優れた担い手を輩出してきました。今後もそうした期待に応えられるよう、本県の試験研究機関で開発されている新品種・新技術の導入や、調理専門学校、農機メーカー等との連携協定など外部の協力も得ながら、学生・研修生にとって「ワクワクどきどき」する農業大学校を目指しています。

禅語で「裂古破今」という言葉がありますが、本校の歴史と伝統の良いところは大切にしながら、時代に合った新しいことにも積極的にチャレンジしていきます。

こうした農大の取組を今回から本誌で連載紹介させていただくことになりましたので、関心を寄せていただくようお願いいたします。